

## 2022 岩国行動に寄せる AWC 韓国委員会からのビデオメッセージ

2022 年岩国での国際共同行動に参加された皆さん、こんにちは。AWC 韓国委員会のホ・ヨングです。ここ数年コロナ禍と、私に対する日本政府の入国拒否により、長いあいだ岩国を訪問できず残念です。しかしこうして映像で皆さんとお目にかかれて大変嬉しいです。

資本主義の搾取と収奪がもたらす地球規模での貧困と格差、そして疾病が労働者民衆を死のふちに追い詰めています。いっぽう資本主義の大量生産と消費の結果である環境破壊は、全世界の民衆を苦しめる気候危機と資源の枯渇をもたらしています。

また、ウクライナ戦争の終わりは見えず、泥沼化しています。ウクライナとロシアの多くの兵士が命を失い、多くの人々が避難民としてさまよっています。戦争で平和を作れないことは明らかです。

先日、G20 首脳会談が開かれましたが、その前段に日米韓3国は、ブノンペンで3国の同盟を強化する会談を行いました。世界平和のためではなく、軍事・経済的に成長する中国の「一帯一路」政策への対抗です。日米韓の3国は、中国・ロシア・朝鮮民主主義人民共和国に対抗して、インド太平洋地域での韓米・日米軍事同盟の強化など、新冷戦体制の戦線形成に没頭しています。あらかじめ日米韓の3国が新冷戦体制を決議しておきながら、G20 首脳会談で世界平和のための道を探ることは難しいでしょう。

強大国が排他的に核兵器を保有していることが、朝鮮民主主義人民共和国の核問題を産んでいるのです。強大国だけが核兵器を独占し、他の国は核保有するなどというこのような圧迫が、むしろ核の拡散を招いているのです。強大国の核拡散禁止条約こそ、きわめて不当なものです。逆に、全世界の国々が核を持ってはならないという核兵器禁止条約を批准し、米国やロシアが率先して核兵器廃絶の政策や協議を行うことで、核の拡散防止を実現できます。

朝鮮の核をめぐる、ユン・ソンニョル政権と岸田政権は、米国の核を韓国と日本に配備する戦術核配備戦略を追求しています。きわめて危険なことです。ただでさえ、米国の戦略核爆撃機や原潜、原子力空母が沖縄と朝鮮半島上で常に作戦を行っており、ハワイとグアムから日米・韓米の軍事訓練に大々的に動員される状況で、韓国と日本に米国の戦術核を配備するということは、いっそう緊張を高め、核戦争の可能性を高めるばかりです。

ウクライナ戦争でもプーチンが核兵器の使用を公然と言及しました。もしも今のように核兵器が拡散され、新冷戦体制を通じて前線が明確な両陣営の対決となって緊張が高まっていけば、今後起こる戦争は、単に第3次世界大戦というだけではなく核戦争の可能性を含む、人類滅亡のきわめて危険な戦争へと飛び火することが深く懸念されます。

したがってアジア民衆は、全世界労働者民衆と共に、帝国主義侵略と戦争、特に核戦争と兵器の拡大、攻撃的軍事訓練を中止するよう、連帯して圧力をかけるべきだと考えます。岩国基地はアメリカ帝国主義の侵略戦争の前進基地です。だからこそ、2022 年岩国での国際行動の意義があります。

日本とアジア民衆の連帯で、帝国主義戦争を食い止め平和を定着させる努力を、より強かに展開していかなばなりません。今の支配者たちに人類の未来と運命を任せることはできません。韓国も世界第8位の軍事・兵器大国として成長しています。非常に憂慮されます。武器の代わりに労働者民衆の福祉を、戦争の代わりに全人類の平和を、私たちは追求していきましょう。2022 年岩国国際行動に参加されたすべての仲間に韓国 AWC を代表して支持と連帯のあいさつを送ります。ありがとうございました！